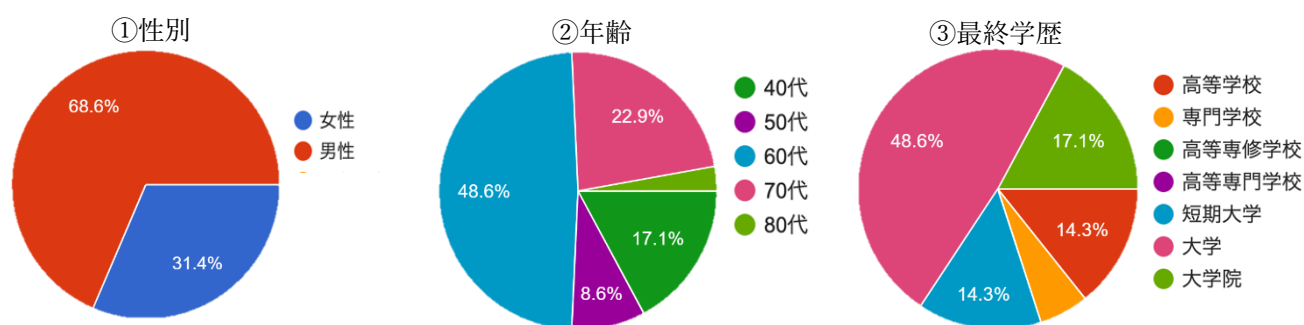


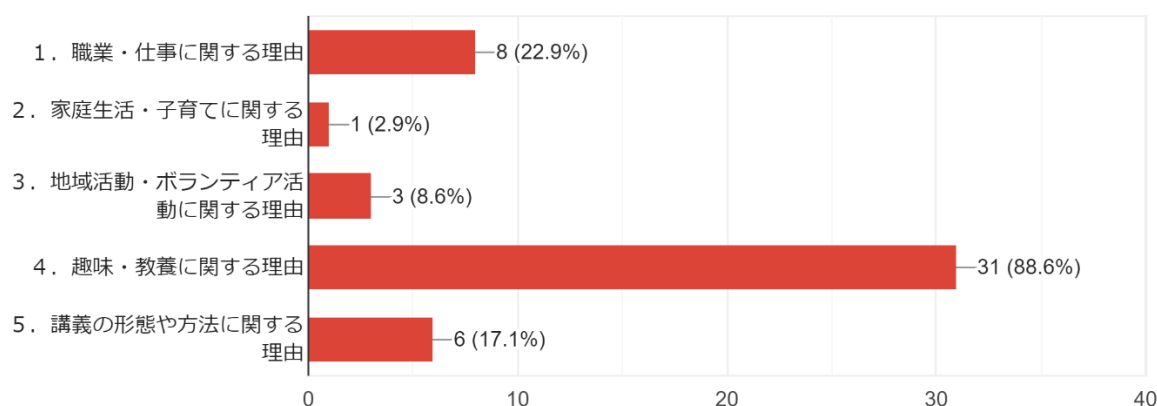
2021 年度前期遠隔・公開授業受講生アンケート結果

【1】 アンケート回答者数（全受講者数）： 35 名（44 名） （回答率：80%）

【2】 回答者の属性（性別、年齢、最終学歴）



【3】 受講理由（複数選択可）



【4】 遠隔・公開授業を受けて良かったことや実生活で役立っていること（一部抜粋）

- ・地方居住者にとって遠隔授業は参加の機会を容易にすることができ、学習の機会が増えた。
- ・録画による講義も始まり、リアルタイムのほか、後で何度でもいつでも聴講できるようになった。先生の研究室からでなく学生の受講中の教室からの発信とのことで、自宅に居ながら、受講中の学生の様子がアクリル板に映り、教室にいるようである。
- ・通学時間がゼロであるため、1日を効果的に活用できる。パソコンの操作が上達した。案外と授業に集中できた。

- ・オンラインの内容など講師の先生の熱意が伝わった。
- ・知らなかった教科書でより深いところまで学べ、メダカの飼育に反映できてきている。
- ・新聞とか読む時に問題の視点の捉え方。考えるという作業を（レポート等）します。
- ・有職中の職務の発想の狭さに気付き、反省し心が穏やかになってきたこと。
- ・司法制度や裁判に関して、これまで以上に興味・関心が高まってきた。
- ・良い点は大学に、行かずに講義を聞ける点ですが。対して先生の講義を直接に聞けないが心に残ります。
- ・一週間に一度の数時間、懸命に聴きノートを取りレポートにまとめることは、この歳では大変な面もありますが、視野を広げることができて、張りあいにもなっています。

【5】遠隔・公開授業に参加して悪かったことや、困ったこと（一部抜粋）

- ・リモートでの授業とばかり考えていたが、実際は、課題を出してそれについてのレポート提出となっていて、正直がっかり感で一杯です。パソコンを開く意欲も無くなって申し込まない方が良かったと後悔しています。
- ・ZOOM 接続の方法が違って最初手間取りました。（外部接続と ID 入力）入力方法で??の時がありますが（自分で解決ですね）
- ・対面であれば受講生と講師との質疑応答を聞くことができるのだが、そうでないので一方通行なのが歯がゆさを感じる。教室の中で会話があって初めて理解が深まると思う。その点ZOOMはよかった。しかし、そのような授業は限られている。
- ・直接教員の人間性に触れて学ぶことが少ない。他学生の学ぶ雰囲気にも全く触れられない。学問は本からだけでなく、人間と人間が触れあいながら学ぶことの大切さを痛感しています。

・学生さんたちと違って、レポートのまとめ方を基礎から学んでいないので、これでいいのかなあ？といつも思いながら書いています。機会があれば、大学でのレポートの書き方を学びたいです。

・授業は教員の人格から学ぶところでもありますが、直接接しえないので残念です。パソコン操作が不馴れの為授業の第1回目に支障があったこと。

・音声や画面がスッキリしないことがある。

2020年度から引き続き、2021年度前期遠隔・公開授業を実施いたしました。

皆さまのご理解・ご協力に感謝申し上げます。そして、このようにアンケートにて皆様の声を頂くことができました。ありがとうございました。

頂きました内容は関係各所、担当教員へ周知し、より一層の充実を図れるようにいたします。

■鹿児島大学 産学・地域共創センター生涯学習部門■

TEL：099-285-7294 FAX：099-285-7265

E-Mail：contact@life.kagoshima-u.ac.jp